

Ⅻ 実践報告Ⅸ 先進校視察

「先進校視察(愛媛県立三崎高等学校)」

日時：令和6年2月2日(金) 13:00～15:00

場所：愛媛県立三崎高等学校

〒796-0801 愛媛県西宇和郡伊方町岬 511 番地

愛媛県立三崎高等学校は、四国西南端の地、愛媛県西宇和郡伊方町に位置し、伊方町唯一の県立高等学校である。伊方町は少子高齢化や地域の担い手不足等の深刻化、過疎化等の課題を抱えており、土佐清水市や本校と共通する部分も多い。

愛媛県立三崎高等学校では平成27年度より「地域を知る」「地域を愛する」ことをねらいとして地域住民など地域のニーズにこたえる形での地域活動や、地域全体を学びの場として捉えた地域課題の解決を目的とした探究活動を通して、調整力やコミュニケーション力などの「生きる力」の育成に力を入れてきている。平成31年度からは文部科学省からの「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」の指定を受け、これまでの地域活動や探究活動等の学習内容をより進化させ、生徒の自主的な取組を活動の中心に据え、カリキュラム編成や組織編成に取り組み、「地域理解」「地域課題の発見・解決」「ブーメラン人材の育成」を継続して行うことのできる学校設定科目「未咲輝(みさき)学」の開設・運営を中心とした取組を行ってきた。令和4年度からは文部科学省から新たに指定を受け、「新時代に対応した高等学校教育改革推進事業(普通科改革支援事業)」について研究を進めている。この事業では令和6年度の新学科設置(予定)に向け、①変化の激しい社会を生き抜くことができる人材の育成、②地域社会とつながる人材の育成、③地域社会学を教育課程に位置付けたSTEAM教育の積極的な導入により、これまで以上に生徒の学びの自走性を高め、生徒の希望進路に合った一人一人に個別最適な学びを目指している。

本校においても文部科学省より令和4年度から同事業の指定を受け、研究活動推進を進める中で組織体制など参考にさせていただくため、令和6年2月2日、学校を訪問し、話を伺った。



1 生徒について

平成 31 年度より「地域みらい留学」により全国募集が始まり、県外生も多く入学するようになった。県外出身生徒が多いことで、新たな視点から地域を捉え返すことができ、町内生徒・県外出身生徒双方にとって良い影響を受けていると感じた。また学校は生徒の自主性・主体性を伸長する取組として、月に 2 回のノーチャイム・私服登校・部活動無しの『みさこう DAY』、生徒が DJ を務める『みさ（こう）ラジ（オ）』や演奏やダンスパフォーマンスを行うライブ活動などを行える機会を設定している。これらの取組によって、自己効力感を得られることで、新たな挑戦へのサイクルができていくように感じられた。



2 教育活動

(1) 公営塾

平日 15 時～21 時まで校内の教室を活用して地域おこし協力隊の方 5 名が講師を務める公営塾が開かれている。現在 100 名程度の生徒が入塾しており、各自が自学自習を行っている。そこで学力保障を行うとともに、教員が放課後補習に時間を割く必要がなくなり、放課後の時間を生徒・教員ともに有効活用できるようになっていると感じた。



(2) ゼミ活動

放課後、生徒は「地域探究」「体づくり」などのゼミ活動に参加することができる。地域探究では地域の方と伊方町の観光名所や地元企業などを巡って地域のことを知る活動を行っている。次年度以降、「料理」「プログラミング」「エネルギー」などのゼミ活動が新設される予定となっている。

(3) 「総合的な探究の時間」について

1 年生については探究活動の方法を学び、地域を知る活動、2・3 年生については 6 つの与えられたテーマ（PR 班・アート班・カフェ班・ツアー班・商品開発班・防災班、前述 6 テーマに当てはまらないことについてはマイプロジェクトとして個別に活動）から興味のあるものを選択し、2・3 年生の縦割りで探究活動を行っている。これらの班はさらに自身の興味・関心ごとに小グループに分かれ、全教職員が関わりながら活動をしている。学年末の総合的な探究の発表会については、3 年生が家庭学習日に設定されているため 3 年生の参加はないが、2 年生が 6 テーマ、あるいはマイプロジェクトとして取り組んだ成果を、縦割りの班ごとで発表し、1 年生は、それを聞くことになっている。1 年生にとっては、自身が所属する班を選択する機会となることから、縦割りの構造がうまく機能していると感じた。

(4) 学校設定科目について

学校設定科目の内容についてはすべての教科から出された案を基に、ブラッシュアップを行ってきている。すでに開設されている「未咲輝学」では地域課題を発見し活動する取組を通して、地域や自身のふるさとについての理解を深め、持続可能なまちづくりのリーダーに必要な知識や資質について学び、判断力やコミュニケーション力を高める授業である。次年度からは情報発信を学ぶ「トライブラーニング」や「アプリ学」などが新たに設置される予定とのことである。

また、地域について多角的に考えを深めるにあたり、教科等横断の取組を、校務分掌の一つである地域協働課が主体となって行っている。年度はじめに各教科から提出された年間指導計画を基に、協働できそうな教科・科目を選定し、すべての教員が教科等横断的な取組を行っており、これは教科間だけでなく、学校行事や外部との協働にもつながっている。

(5) 教育課程について

本年度、生徒は年間 33 単位を履修することとなっているが、「総合的な探究の時間」や「未咲輝学」などの学校設定科目、ゼミ活動等を充実させる目的で、放課後の時間を確保し、次年度入学生以降 29 単位の履修となる。学力の担保として前述の公営塾が機能している。

3 組織体制・コーディネーターの役割について

三崎高等学校では現在 7 つの分掌があり、ほぼ全員が原則分掌を兼務している状態である。「総合的な探究の時間」や「未咲輝学」などの学校設定科目について研究を行う地域協働課については、5 人体制で課長・コーディネーター・各学年主任の 5 名で分掌業務を行っている。コーディネーターは、一日 7 時間の勤務をしており、教員と協働できる体制が整っている。総合的な探究の時間や特別活動、学校設定科目など、これまでに協働してきた地域の人材をデータベース化することで、地域人材とのつながりがない新任教員でも、連携・協働しやすい体制を構築している。

清水高校の学際的学び「ジョン万次郎×SDGs」

目指す人物像 21世紀のジョン万次郎

〈現状〉

- ・視野を広げる学び、頭を鍛える学びを享受できていない。
- ・よりよい社会と豊かな人生を創り出し、いくつかが未来形成である。
- ・主体的に人生を切り開いていく意志が確立できていない。

- ①自然科学、社会科学、人文科学の各分野について、横断的に学び、専門性にとらわれない柔軟な思考を身に付けている。
- ②課題や目的を自ら設定し、国際的な視野で問題を解決しようとする態度を身に付けている
- ③多様な他者と協働して新たな価値を創造する力を身に付けている

目標

- ①特定の分野に偏らない学びを表現させるため、文理融合した教科横断的なカリキュラムを開発する。
- ②最先端の科学を学ぶため、自然科学・社会科学・人文科学等の分野について、大学、研究機関、官公庁、民間企業等と連携する。
- ③国際的な視野を身に付けさせるため英語教育を充実し、国際交流を促進する。
- ④コンソーシアムと連携し、学校内外が一体化した教育活動を行うことで、社会に開かれた教育課程を実現する。

ジョン万次郎の生涯を紐解き、現代社会の諸相についてSDGsの視点から考察する

探究テーマ例

自然科学的探究

土佐清水の海や山の美観を、地域人材や大学教員による講義やフィールドワークを行うことで、より深く理解し、土佐清水の自然科学を深く学ぶことで、地球規模での環境の在り方等について探究する。

社会科学探究

土佐清水の産業や福祉等の実際について、地域人材や行政職員、大学教員による講義やフィールドワークを行うことで、より深く理解し、今後の土佐清水の方を考えることで、世界の土佐清水について探究する。

人文科学的探究

ジェンダラーの平等をはじめとして様々な人権課題について、土佐清水及び近隣の市町村がどのような取組を行っているかについて、地域人材や大学教員による講義やフィールドワークを行うことで、より深く理解し、世界的な視野でのジェンダー平等について探究する。



Think Globally,
Act Locally!

【学校設定教科・科目】
清水学際Ⅰ
清水学際Ⅱ
清水学際Ⅲ

大学・研究機関・先端企業との連携

コンソーシアム

- 高知工科大学
- 高知大学
- 土佐清水ジオパーク推進協議会
- 株式会社 リクルート
- 株式会社 キャリアリンク
- 土佐清水市立清水小学校
- 土佐清水市立清水中学校 等

- ・ 総合的な探究の時間及び教科において連携
- ・ カリキュラム開発の支援

【総合的な探究の時間】

- ・SDGsの視点から、グローバル課題やSociety5.0の実現に伴う課題等を考察する
- ・清水学際Ⅰ・Ⅱ及び総合的な探究の時間において探究した内容を、アメリカや台湾の大学生、高校生等に発信し、課題解決について議論する

育成を目指す資質・能力

- ・世界や社会の事象を深く探究する力。
- ・未来を生き抜き、新たな価値を創造する力。
- ・他者の意見や視点を尊重し、協働的に取り組む力。

教科を横断した学際的な学びを実現

コーディネーター

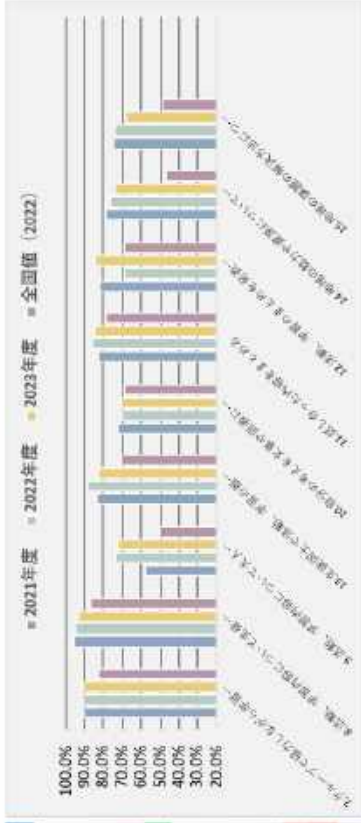
- ・国際交流の推進
- ・大学・地域等との折衝
- ・カリキュラム開発の支援
- ・授業改善の支援

探究の往還

① 学習活動

選択した重点質問項目（年度間比較）

指標	2021年度	2022年度	2023年度	全国値(2022)	2021-2023
1 7.グループで協力しながら学習や調べものを行う	90.4%	90.7%	90.8%	82.9%	0.4%
2 8.活動、学習内容について生徒同士で話し合う	95.7%	98.3%	92.4%	87.2%	-2.3%
3 9.活動、学習内容について大人（教員や地域の大人）と話し	57.4%	72.9%	72.4%	50.7%	15.0%
4 13.生徒同士で活動、学習の振り返りを行う	84.0%	88.8%	82.9%	70.4%	-1.1%
5 10.自分の考えを文章や図表にまとめる	72.3%	70.1%	71.1%	69.2%	-1.2%
6 11.話し合った内容をまとめる	83.0%	86.0%	84.2%	79.0%	1.2%
7 12.活動、学習のまとめを発表する	81.9%	69.2%	84.2%	69.0%	2.3%
8 14.地域の魅力や資源について考える	78.7%	76.6%	73.7%	46.1%	-5.0%
9 15.地域の課題の解決方法について考える	74.5%	73.3%	68.4%	48.8%	-5.1%



② 学習成果

選択した重点質問項目（年度間比較）

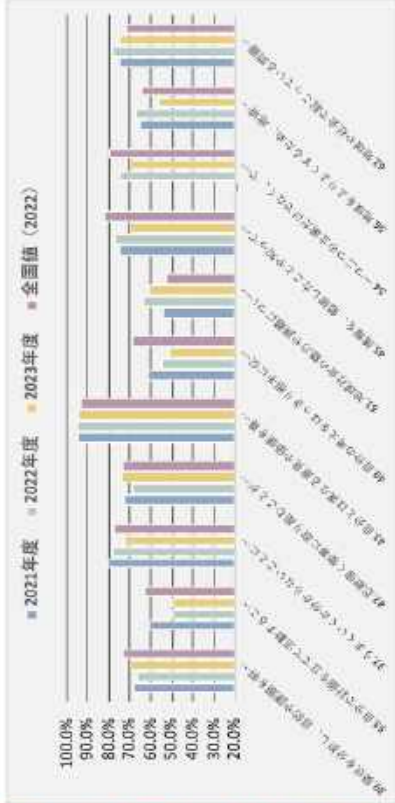
指標	2021年度	2022年度	2023年度	全国値(2022)	2021-2023
1 20.失敗してもまいという安全、安心な雰囲気がある	81.9%	78.5%	78.9%	76.5%	-3.0%
2 21.挑戦する人に対して、応援する雰囲気がある	91.5%	96.3%	94.7%	89.9%	3.2%
3 26.自分が何かに挑戦しようと思ったとき、周りは手を差し	88.3%	92.5%	94.7%	88.7%	6.4%
4 22.人と違うことが尊重される雰囲気がある	77.7%	81.3%	76.0%	78.7%	-2.7%
5 23.ありのままの自分が尊重される雰囲気がある	81.9%	82.2%	78.9%	81.5%	-3.0%
6 17.本音を言葉だけでなく発言できる雰囲気がある	83.0%	85.2%	75.0%	81.6%	-8.0%
7 18.母長のことや興味したいことを話し合える大人がいる	74.5%	80.4%	77.6%	78.4%	3.1%
8 24.周りの大人は、じっくりと話を聞き、考える手助けをし	87.2%	88.8%	82.9%	85.1%	-4.3%
9 25.地域の人や関係者など、興味を持ったことに対してすぐに	76.6%	81.3%	88.2%	73.7%	11.8%
10 29.地域の人や関係者など、じかに触れる機会がある	75.5%	72.9%	75.0%	56.8%	-0.5%



3 自己啓発

選択した重点質問項目（年度間比較）

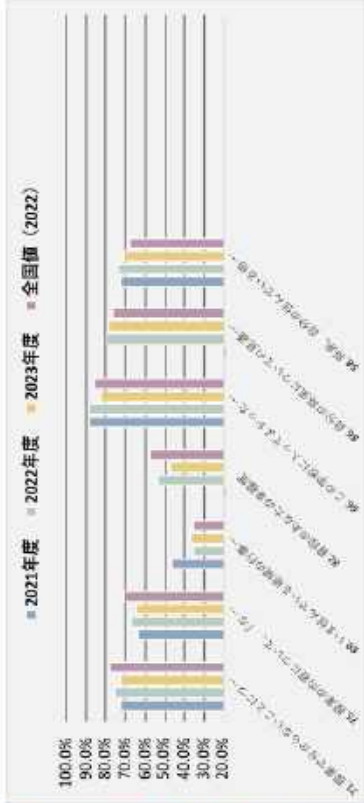
指標	2021年度	2022年度	2023年度	全国値(2022)	2021-2023
1 39現状を分析し、目的や課題を明らかにすることができる	68.1%	55.4%	59.7%	73.3%	1.5%
2 53自分で計画を立てて活動することができる	60.6%	49.5%	50.0%	63.0%	-10.6%
3 37うまくいくか分からないことにも着眼的に取り組む	80.9%	78.5%	72.4%	71.9%	-8.5%
4 47忍耐強く物事に取り組みることができる	72.3%	59.2%	73.7%	72.9%	1.4%
5 43自分とは異なる意見や価値を尊重することができる	94.7%	95.3%	94.7%	92.9%	0.0%
6 49自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	61.7%	55.1%	51.3%	69.2%	-10.4%
7 61地球社会の活力や課題について、自主的にテーマを設定	54.3%	63.6%	60.5%	52.7%	6.7%
8 45情報を、創造したことや知っていることと関連づけで使う	74.5%	78.6%	69.7%	82.1%	-4.8%
9 58二つの立場だけでなく、できるだけ多くの立場から	-	74.8%	69.7%	79.8%	-
10 56地域をよりよくするため、地域における問題に取り組む	64.9%	67.3%	56.6%	64.1%	-8.3%
11 62地球や社会で起こっている問題を、まことに關心がある	74.5%	78.5%	75.0%	71.9%	0.5%



4 行動実践 5学習・その他 6ウェルビーイング

選択した重点質問項目（年度間比較）

指標	2021年度	2022年度	2023年度	全国値(2022)	2021-2023
1 71授業で分からないことについて、自分から質問したり、	72.3%	75.7%	72.4%	77.7%	0.1%
2 75授業の内部について、「なぜそうなったのか」と疑問を持つ	63.8%	67.3%	64.5%	70.5%	0.7%
3 69いま生きている地域の行事に参加した	46.8%	35.5%	36.8%	35.6%	-10.0%
4 82学校のみなさんの幸福度	-	53.3%	47.4%	57.7%	-
5 66この学校に入ってよかったと思う	88.3%	87.9%	82.9%	85.7%	-5.4%
6 65自分の将来についての見通し(将来こういう風でありたい)	-	79.4%	78.9%	76.4%	-
7 58将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという	72.3%	73.8%	71.1%	67.5%	-1.2%
8					
9					
10					



令和5年度 高知県オリジナルアンケート集計結果

質問項目	回答	3年生 (R3入学生)						2年生 (R4入学生)						1年生 (R5入学生)					
		学年 (入学年)		学年 (入学年)		学年 (入学年)		学年 (入学年)		学年 (入学年)		学年 (入学年)		学年 (入学年)		学年 (入学年)			
		1回	2回	1回	2回	1回	2回	1回	2回	1回	2回	1回	2回	1回	2回	1回	2回		
問1 あなたは、どのような授業を最も期待していますか。	1 分かりやすい授業	23.1%	28.0%	44.3%	41.7%	37.5%	53.0%	59.1%	66.7%	53.3%									
	2 教員や先輩が身につく授業	3.8%	28.0%	15.1%	18.8%	20.8%	11.4%	0.0%	0.0%	8.4%									
	3 自分たちで立てた課題を探究する授業	0.0%	8.0%	2.9%	0.0%	2.1%	2.4%	0.0%	4.8%	3.0%									
	4 受験に適用する力がつく授業	50.0%	8.0%	13.7%	12.5%	6.2%	12.9%	13.6%	0.0%	10.7%									
	5 将来の生活や職業に役立つ授業	23.1%	24.0%	17.6%	18.8%	22.9%	16.2%	27.3%	19.0%	19.2%									
	6 他に期待することはない	0.0%	4.0%	6.5%	8.3%	10.4%	4.0%	0.0%	9.5%	5.4%									
問2 あなたは、どのような部活動に所属していますか。	1 運動部	57.7%	64.0%	45.3%	25.0%	18.8%	41.9%	36.4%	33.3%	48.8%									
	2 文化部	26.9%	28.0%	26.7%	31.2%	45.8%	28.1%	45.5%	47.6%	25.6%									
	3 運動部と文化部	7.7%	4.0%	3.0%	14.6%	8.3%	2.6%	9.1%	9.5%	2.8%									
	4 所属していない	7.7%	4.0%	25.1%	29.2%	27.1%	27.4%	9.1%	9.5%	22.8%									
問3 あなたは、新聞(テレビ・ラジオ欄以外)を読みますか。	1 必ず毎日読む	3.8%	0.0%	2.3%	2.1%	2.1%	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%									
	2 ほぼ毎日読む	15.4%	0.0%	2.8%	2.1%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	1.8%									
	3 時々読む	3.8%	24.0%	19.6%	18.8%	22.9%	13.5%	27.3%	19.0%	13.7%									
	4 ほとんど読まない	34.6%	28.0%	25.1%	25.0%	29.2%	26.0%	22.7%	14.3%	25.2%									
問4 あなたは、学校や家などで課題(マンガ)を除く(マンガ)の程度はどの程度ですか。	1 5時間以上	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	1.6%	1.5%	4.5%	0.0%	1.6%									
	2 3時間以上5時間まで	3.8%	4.0%	2.2%	4.2%	0.0%	2.5%	4.5%	0.0%	2.2%									
	3 1時間以上3時間まで	11.5%	8.0%	9.4%	4.2%	6.2%	8.5%	0.0%	8.5%	8.5%									
	4 30分まで	7.7%	8.0%	12.9%	18.8%	6.2%	14.1%	18.2%	14.3%	13.3%									
	5 1時間未満	15.4%	16.0%	18.4%	22.9%	31.2%	19.7%	27.3%	9.5%	21.6%									
	6 まったくしない	61.5%	64.0%	54.6%	50.0%	56.2%	53.6%	45.5%	76.2%	52.8%									
	7 5時間以上	23.1%	24.0%	24.9%	39.6%	37.5%	23.7%	13.6%	23.8%	21.3%									
	8 4時間以上5時間まで	15.4%	16.0%	11.9%	14.6%	22.9%	12.8%	31.8%	28.6%	13.4%									
	9 3時間以上4時間まで	11.5%	16.0%	19.2%	18.8%	18.8%	22.0%	18.2%	4.8%	21.9%									
	10 2時間以上3時間まで	15.4%	24.0%	20.2%	18.8%	14.6%	22.5%	22.7%	28.6%	23.6%									
	11 1時間以上2時間まで	30.8%	12.0%	13.7%	8.3%	6.2%	12.8%	9.1%	14.3%	14.1%									
問5 あなたは、携帯電話やスマートフォンなどを授業以外の目的としてどの程度利用していますか。	1 30分以上1時間まで	3.8%	8.0%	6.1%	0.0%	3.6%	4.5%	0.0%	3.2%										
	2 10分以上30分未満	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	1.2%									
	3 利用していない	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	1.3%									
	4 行っていない	88.5%	96.0%	78.4%	50.0%	45.8%	79.9%	100.0%	66.7%	89.0%									
問6 あなたは、アルバイトを行っている場合は、行っている場合は、週何時間程度行っていますか。	1 2時間未満	11.5%	4.0%	6.1%	27.1%	25.0%	7.1%	0.0%	9.5%	3.6%									
	2 3時間以上6時間未満	0.0%	0.0%	11.0%	18.8%	27.1%	9.8%	0.0%	19.0%	5.5%									
	3 7時間以上10時間未満	0.0%	0.0%	3.4%	4.2%	2.1%	2.5%	0.0%	4.8%	1.4%									
	4 11時間以上14時間未満	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.6%									

※ 令和5年度より県のアンケートシステム「高知家しらべ」を使っての実施となりました。
 本校の集計結果の詳細(グラフ、回答人数、CSVファイル等)は、「高知家しらべ」内の「管理メニュー・アンケートの管理」画面から閲覧できます。

★ 「高知家まなび」教職員ポータルサイト → 「高等学校課」 → 「高知家しらべ」 → 「管理メニュー」

※ 表示されている数値は、「指定された回答期間内」に回答した数を母数として算出されています。
 ※ それぞれの質問項目の合計が100%にならないものがありますが、間違いではありません。
 ※ 「県平均」は、2回目の県平均値です。1回目と2回目を総合した平均値ではありません。

46 清水高等学校(全)

質問項目	回答	3年生 (R3入学生)						2年生 (R4入学生)						1年生 (R5入学生)					
		学年 (入学年)		学年 (入学年)		学年 (入学年)		学年 (入学年)		学年 (入学年)		学年 (入学年)		学年 (入学年)		学年 (入学年)			
		1回	2回	1回	2回	1回	2回	1回	2回	1回	2回	1回	2回	1回	2回	1回	2回		
問7 学校生活は、充実している	1 全てはまる	61.5%	52.0%	49.1%	22.9%	20.8%	43.9%	45.5%	38.1%	45.9%									
	2 どちらかといえば全てはまる	30.8%	40.0%	39.7%	62.5%	56.2%	45.5%	50.0%	47.6%	43.7%									
	3 どちらかといえば全てはまる	7.7%	8.0%	6.7%	12.5%	14.6%	7.4%	4.5%	14.3%	7.1%									
	4 全てはまる	0.0%	0.0%	4.5%	2.1%	8.3%	3.2%	0.0%	0.0%	3.2%									
問8 ホームルーム(クラス)では安心して過ごすことができる	1 全てはまる	73.1%	56.0%	56.3%	29.2%	22.9%	54.6%	57.3%	52.4%	55.9%									
	2 どちらかといえば全てはまる	19.2%	40.0%	34.0%	52.1%	60.4%	36.8%	18.2%	42.9%	34.8%									
	3 どちらかといえば全てはまる	7.7%	0.0%	6.1%	18.8%	12.5%	6.3%	4.5%	4.8%	6.7%									
	4 全てはまる	0.0%	4.0%	3.6%	0.0%	4.2%	2.4%	0.0%	0.0%	2.7%									
問9 学校の授業は、よく理解できている	1 全てはまる	19.2%	16.0%	26.7%	12.5%	8.3%	18.8%	13.6%	9.5%	18.9%									
	2 どちらかといえば全てはまる	65.4%	72.0%	54.6%	60.4%	60.4%	57.7%	59.1%	76.2%	58.8%									
	3 どちらかといえば全てはまる	11.5%	12.0%	13.9%	20.8%	27.1%	19.0%	27.3%	9.5%	17.3%									
	4 全てはまる	3.8%	0.0%	4.8%	6.2%	4.2%	4.4%	0.0%	4.8%	5.0%									
問10 学校の授業では、学習のねらい(めあて)が示されている	1 全てはまる	76.9%	68.0%	32.7%	39.6%	35.4%	32.8%	36.4%	52.4%	39.4%									
	2 どちらかといえば全てはまる	23.1%	28.0%	67.3%	58.3%	62.5%	52.8%	63.6%	33.3%	48.8%									
	3 どちらかといえば全てはまる	0.0%	4.0%	13.7%	2.1%	0.0%	10.8%	0.0%	14.3%	9.1%									
	4 全てはまる	0.0%	0.0%	6.9%	0.0%	2.1%	3.5%	0.0%	0.0%	2.7%									
問11 学校の授業では、学んだ知識をもとに自ら考え、まとめたり、発表したりする機会がある	1 全てはまる	73.1%	56.0%	32.8%	20.8%	29.2%	35.3%	31.8%	42.9%	38.3%									
	2 どちらかといえば全てはまる	19.2%	40.0%	47.9%	58.3%	64.6%	51.5%	59.1%	42.9%	48.5%									
	3 どちらかといえば全てはまる	7.7%	4.0%	14.0%	8.3%	6.2%	10.2%	4.5%	9.5%	10.5%									
	4 全てはまる	0.0%	0.0%	5.4%	0.0%	2.9%	2.8%	4.5%	4.8%	2.7%									
問12 学校の授業では、学習のねらいが設定されている	1 全てはまる	69.2%	56.0%	33.1%	33.3%	41.7%	35.7%	50.0%	38.1%	39.3%									
	2 どちらかといえば全てはまる	23.1%	40.0%	46.3%	64.6%	56.2%	49.7%	45.5%	52.4%	48.8%									
	3 どちらかといえば全てはまる	7.7%	4.0%	14.6%	2.1%	2.1%	11.8%	4.5%	9.5%	9.2%									
	4 全てはまる	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%									
問13 学習すること自体が楽しみという気持ちを持っている	1 全てはまる	3.8%	12.0%	17.0%	4.2%	10.4%	12.1%	16.2%	0.0%	11.7%									
	2 どちらかといえば全てはまる	57.7%	40.0%	27.0%	25.0%	16.7%	27.2%	22.7%	19.0%	26.8%									
	3 どちらかといえば全てはまる	19.2%	32.0%	29.4%	45.8%	45.8%	33.2%	31.8%	47.6%	34.0%									
	4 全てはまる	19.2%	16.0%	26.6%	25.0%	27.1%	27.4%	27.3%	33.3%	27.4%									
問14 将来の可能性を広げるために勉強をがんばっている	1 全てはまる	57.7%	44.0%	47.7%	22.9%	16.7%	41.0%	36.4%	28.6%	41.7%									
	2 どちらかといえば全てはまる	38.5%	36.0%	38.8%	64.6%	58.3%	45.7%	50.0%	52.4%	44.1%									
	3 どちらかといえば全てはまる	3.8%	16.0%	7.7%	12.5%	22.9%	9.0%	13.6%	9.5%	9.6%									
	4 全てはまる	0.0%	4.0%	5.8%	0.0%	2.1%	4.2%	0.0%	9.5%	4.6%									
問15 自主学習(家庭学習を含む)は必要だと思う	1 全てはまる	65.4%	40.0%	46.0%	33.3%	22.9%	43.9%	40.8%	33.3%	42.4%									
	2 どちらかといえば全てはまる	26.9%	44.0%	35.5%	43.8%	50.0%	39.5%	45.5%	38.1%	42.6%									
	3 どちらかといえば全てはまる	3.8%	12.0%	8.4%	16.7%	12.5%	8.7%	9.1%	19.0%	6.7%									
	4 全てはまる	3.8%	4.0%	10.1%	6.2%	14.6%	7.9%	4.5%	9.5%	6.9%									
問16 自主学習(家庭学習)をやる習慣が身についた	1 全てはまる	23.1%	28.0%	29.8%	12.5%	8.3%	20.6%	13.6%	9.5%	21.7%									
	2 どちらかといえば全てはまる	61.5%	52.0%	44.6%	47.9%	47.9%	45.1%	45.5%	38.1%	44.5%									
	3 どちらかといえば全てはまる	7.7%	8.0%	15.5%	29.2%	22.9%	22.2%	22.2%	31.8%	23.1%									
	4 全てはまる	7.7%	12.0%	10.1%	10.4%	12.5%	11.4%	18.2%	23.8%	10.7%									
問17 習い事に通っている	1 全てはまる	69.2%	60.0%	42.7%	21.1%	29.2%	34.7%	54.5%	38.1%	34.8%									
	2 どちらかといえば全てはまる	26.9%	40.0																

文部科学省指定事業

令和5年度 新時代に対応した高等学校改革推進事業 普通科改革支援事業
実施報告書（第2年次）

令和6年3月発行

発行者：高知県立清水高等学校

〒787-0336 高知県土佐清水市加久見893-1

TEL：0880-82-1236 FAX：0880-82-2264

E-Mail：320121@ken.pref.kochi.lg.jp